



公式マスコットキャラクター  
「エビちゃん」



堺市立総合医療センターと市民の健康をつなぐ広報誌

# ぞうさん広場

vol. 22  
2019冬号

特集

高度で低侵襲な医療を提供する

## IVRセンター



地方独立行政法人 堺市立病院機構

### 堺市立総合医療センター

SAKAI CITY MEDICAL CENTER



Feature

特集

# IVRセンター

IVRセンター センター長  
放射線診断科副医長  
なかむらまさひさ  
中村 純寿 先生

## 高度で低侵襲な医療を提供する IVRセンター始動

### 心と身体にやさしい低侵襲治療の発展

IVRとは「Interventional Radiology

(「インターベンショナルラジオロジー」)

の略語で、日本語では「画像下治療」と訳

されています。一般的に、CTやX線、超

音波などの画像撮影検査は、病気を診断

することを目的としています。IVR

はそれらの技術を活用して、病変をリア

ルタイムで確認しながら、カテーテルと

呼ばれる細い管や針を使って治療するこ

とを目的とする治療法全般のことを指

します。切開手術に比べると、低侵襲であ

ることから、比較的新しい治療として発

展し、注目されています。

IVRは左図のように大きく「血管系

IVR」と「非血管系IVR」の二つに分

けることができ、がんや脈管疾患、感染

※「侵襲」とは治療によって人体や精神に苦痛や不安を与えること。

症、救急外傷など幅広い疾患で利用され

る治療法です。開胸や開腹を伴う切開手

術は患者さんにとって侵襲度は高く手術

後も回復までに時間を要します。IVRの

場合、傷は小さく、治療後から退院までの

時間が比較的短いため、身体や心への負担

が少なくなる大きなメリットです。

高侵襲な切開手術の提供が難しいとさ

れる高齢者、身体に手術痕を残したくな

い方や小児患者さんへの治療実績も増加

しています。IVRはまだまだ発展する

とされる治療分野ですので、対象となる

病気の範囲が拡大されていくと考えま

す。なるべく患者さんに低侵襲な治療が提

供できるように日頃から技術や知識の向

上に努めてまいります。

### IVRで対応できる疾患例

#### 血管系IVR

##### 止血術

外傷性出血、消化管出血、咯血、  
産科出血、医原性出血 など

##### 血管塞栓術

内臓動脈瘤、血管奇形、血流改  
変術、種々の静脈瘤 など

##### 腫瘍塞栓術

肝腫瘍、頭頸部腫瘍、腎腫瘍、骨  
軟部腫瘍、子宮筋腫 など

##### 血管形成術

大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、  
透析シャント不全 など

##### 門脈IVR

消化管静脈瘤の塞栓術、肝切除  
術前の門脈塞栓術 など

##### 静脈IVR

副腎静脈サンプリング、上大静  
脈ステント など

##### リンパ管IVR

乳び胸に対するリンパ管造影・  
塞栓術 など

#### 非血管系IVR

##### 胆道IVR

胆管・胆嚢のドレナージ、胆管ス  
テント など

##### 腫瘍IVR

CTガイド下腫瘍生検、肝癌ラジ  
オ波凝固療法 など

##### 感染IVR

膿瘍・嚢胞のドレナージ、硬化療  
法 など



## \ 2019年9月に「IVRセンター」誕生! /



当院では以前からIVR(画像下治療)を提供してきましたが、増加するニーズや多様化に応えるため、2019年9月よりIVRセンターを開設しました。患者さんに安全かつ迅速なIVRを実施するためには、院内の各診療科との緊密な連携は必要不可欠です。また、医師のみならず看護師や診療放射線技師などのコメディカルとも治療方針や患者さんの生活背景について情報共有することは安全性を担保する上で重要なこととなります。院内での連携をさらに強化し、各診療科を支える『なくてはならない部門』としてIVRセンターが機能できるように努め、IVRのさらなる発展を目指します。

### IVRセンター設立で 高度医療の提供を目指す

当院が掲げる目標には、最重症例まで受け入れる救命救急センター、高度専門医療の増加、手術や薬物を駆使したがん専門診療、そして患者さんの負担を最小限に抑える低侵襲治療などがあります。IVRはこの全てを満たす医療だと考えます。

日本では80年代の中頃から広まり始めた比較的新しいIVRという低侵襲な治療が、あらゆる疾患に対応可能な技術として発達し、今後30年はさらなる進化が期待されています。そのようなIVR治療を行える環境が揃う当院でセンターを設立し、新たな組織としてスタートしました。



### 部門を越えたチーム医療で IVRセンターを築き上げる

IVRは医師だけではなく、看護師、診療放射線技師などのコメディカルが三位一体となり、チーム医療で治療や検査を行うことが重要です。専門的な知識を有するIVR専門医を筆頭に、IVRセンターでは、「IVRで患者さんを救いたい」という熱い想いで取り組んでいます。

当院の救命救急センターでは、重篤で緊急的な治療が必要な患者さんに対してIVRが迅速に実施できるよう体制を整えています。また、治療の低侵襲化に取り組む心臓血管外科においても、これまで長時間の外科的手術を要していた大動脈疾患に対し、IVRを積極的に適用しています。知識と技術を兼ね備えた医師やコメディカルが手を組むことにより、治療の選択肢が広がり、多岐にわたる疾患に対応が可能となっています。



OP室  
Operating Room

心臓血管外科 低侵襲血管手術担当部長  
IVRセンター 副センター長  
しぶかわ たかのり  
澁川 貴規 先生

## IVR × 心臓血管外科

### 大きな手術痕が残らない 低侵襲化する心臓血管治療

心臓血管外科の分野においても、治療の低侵襲化は進んでおり、当院でもここ数年でIVR（画像下治療）を行う件数が増加しています。また、IVRが始まった当初よりも技術が進歩し、治療の選択肢も増えているため、さらに良質な治療の提供が可能となっています。もちろん患者さんの病態に応じて、従来の開胸・開腹手術が必要な場合もありますが、患者さんにとっても医療従事者にとっても有益なことだと思います。

治療法を選択する際には、診療科等をまたがって複数の医療従事者間で有効性や安全性を判断しています。外科的手術を行ってきた大動脈瘤や急性大動脈解離等の大動脈疾患の治療も、IVRの進歩により切開せずに治療が可能となりました。当院では、IVRの治療の一つであるステントグラフト内挿術（カテーテルを用いて人工血管を大動脈内に挿入する治療）を積極的に行ってはいますが、どんなに傷が小さく術後の回復が早くても、追加治療が必要になったり、合併症を引き起こして開胸・開腹手術をすることになったりしては低侵襲治療のメリットを活かせたとは言えません。総合病院の強みを活かして根治性や術後回復等のバランスを考慮し、多角的な判断が可能となるよう、医療従事者が連携を図り、可能な限

り患者さんの不安や負担を軽減できる心臓血管治療の提供に努めてまいります。

### 患者さんに負担を与えない 有効な医療を考える

人口の高齢化に伴い、80歳を超える高齢患者さんへの治療も増えていきます。長時間の開胸・開腹手術による侵襲に体力的にも負担が大きい高齢者や重篤な患者さんにとって、IVRは身体に優しい治療だと考えます。また、IVR後のフォローも大切です。診断から治療説明、フォローアップまで、医師をはじめ専門性の高い看護師や診療放射線技師が丸となって、きめ細やかなサポートを心がけています。

IVRの治療を行うためには、従来の外科的手術の習熟が必要となります。両方の治療を理解した上で、IVRの低侵襲治療が活きてきます。若手医師の育成では、患者さんにとってより負担の少ない有効な治療法を考えられる医師になるよう教育を行っていきます。





## 救急現場における IVRの必要性と活用

患者さんにできる限り低侵襲な治療ができるIVR（画像下治療）は、止血治療の際も切開手術することなくカテーテル治療を実施することで、患者さんへの負担も少なくなります。救急搬送される患者さんにとって、侵襲のある医療行為はさらなる重篤な状況を招くリスクがあります。IVRはそのような救急の現場で活きる治療法の一つです。

当院の救命救急センターには外科的手術とIVRを同時に行えるハイブリッド手術室を備えています。例えば、交通事故で全身に外傷を負った患者さんに対して、胸は開胸手術で対応し、同時にお腹や首にはカテーテル治療を行うことで、長時間の手術に耐えられない患者さんの救命の可能性を高めることができます。IVRを活用した治療によって重篤な状態から回復した患者さんが社会復帰ができたというお話は印象に残っています。

## 高度な医療技術の向上が 地域の患者さんを救う

救命救急センターでIVRを行う上で、他科との連携は重要になります。中でも放射線診断科とは常に連携することを意識しています。日々のカンファレンスを通じて知識を高めたり、放射線診断科の治療にも参加して修練を重ねたりすることで、救急の現場でより正確でスピーディな対応が可能となります。もちろん迅速な治療を行うためには、看護師・診療放射線技師などのコメディカルとの連携も欠かせません。私たち医師が治療方針を明確に示すことが円滑なチーム医療にもつながります。また、IVRが低侵襲の治療法といっても、救急の場合は限られた時間の中で迅速に治療を遂行しなければなりません。より多くの患者さんを救うためには、進歩する医療の知識を身につけ、技術の向上のために日々研鑽する必要があります。

今後、救命救急センターでのIVRはますます増加すると考えられます。救命救急センターのIVRチームでは、生命の危機に瀕している患者さんに対して、IVRがどのような役割を果たせるかを常に考え、より質の高い治療が提供できるように取り組みます。地域の方々や医療関係者の方々にもIVRについて知っていただき、役に立てるように努めてまいります。



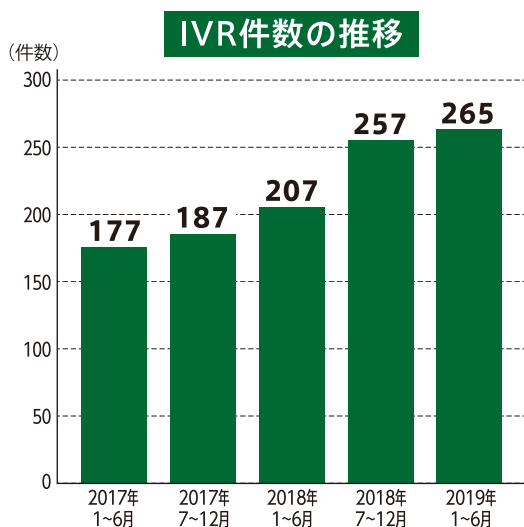
救命救急科 副医長  
IVRセンター 副センター長  
やくしじ ひで あき  
薬師寺 秀明 先生

IVR × 救命救急センター



IVRセンター  
消化器内科副部長  
高橋 俊介 先生

IVRセンター  
救命救急科副医長  
天野 浩司 先生

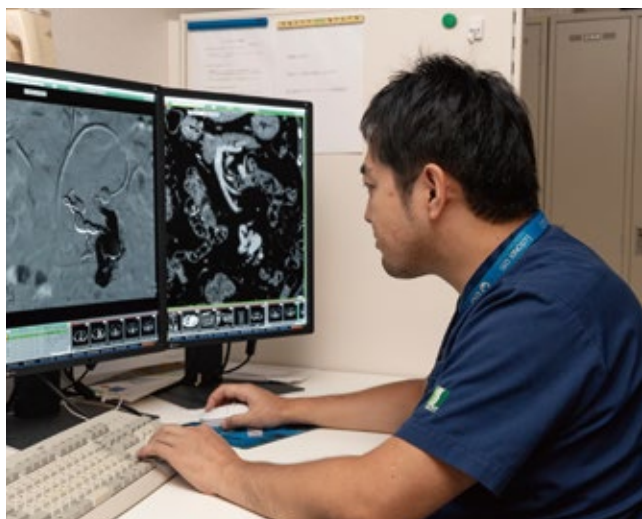


国内でトップレベルの  
IVR症例実績を誇る

一般的にもIVRのニーズは年々増加しており、当院においても同様の傾向がみられます。IVR専門医がいなかった3年半前は100例程度の治療実績でしたが、現在では年間500例を超える実績となっています。夜間休日も積極的に対応しており、血管系<sup>※P2参照</sup>IVRにおける止血術は国内トップレベルの件数を行っています。また、CT透視技術や超音波を駆使して、膿を吸い出す膿瘍ドレナージや腫瘍の一部を採取して正確な診断を行う経皮的針生検術も飛躍的に増加し、近隣病院からも多く紹介していただいております。また、安全で迅速かつ多くのIVRを行うため、センター化し体制を強化することにより当院で対応可能な疾患の幅も広がりました。

IVRは病気の根絶的治療だけではなく、緩和医療でも重要な役割を果たします。患者さんの症状や苦痛を少しでも軽減し、身体と心のケアにつなげる治療法として期待されています。このように医療技術や医療機器の進歩により、IVRの適応疾患はさらに拡大しています。IVRセンターを通じて、IVRという治療法を地域の患者さんや医療者に知っていただけるよう院内外問わず積極的に周知していきます。そして、IVRが「知る人ぞ知る治療法」から「欠かすことのできない治療法」の一つになれるよう、チーム一丸となって取り組んでまいります。

根治から緩和まで  
なくてはならない医療に





## IVRを支える診療放射線技師

### IVRを行う上で必要不可欠な診療放射線技師

診療放射線技師は、医師の指示によりX線を使ったCT、X線透視、一般撮影やX線を使わないMRI、核医学などのさまざまな医療機器を駆使し患者さんを検査することで、診断や治療に必要な画像を提供しています。これらの画像から病気を発見したり、有効な治療法を選択したりするため、非常に重要な役

割を担っています。

放射線技術による画像診断は、現代医療には欠かせないものとなっており、IVR（画像下治療）においても同様です。通常診療におけるIVRでは治療計画に沿ってIVR施行医師の指示を基に撮影を行います。救急診療の状況下では、診療放射線技師による迅速な判断が必要になることもあり、より高度な知識と技術が求められるようになってきました。より多くの患者さんを救うため、医師がスムーズに診療を行えるよう正確で迅速な画像撮影を行うことは診療放射線技師の使命と考えます。

当院にはIVR専門医や緊急IVRに対応可能な診療放射線技師が常駐しているため、休日や夜間でもIVRに対応できます。現在、X線CT専門技師や救急撮影認定技師が活躍していますが、さらなるIVRの発展に対応するため血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師という学会認定資格を持つスタッフの育成にも注力しています。

血管撮影やインターベンション領域の技術を向上させることは、チーム医療に貢献し、患者さんへの質の高い医療の提供につながると考えます。今後も患者さんへの負担が少ない治療が提供できるよう、技術の向上や知識の習得に努めていきます。



放射線技術科  
藤原 健 技師

放射線技術科  
中西 健 技師

放射線技術科  
森田 和也 技師



### 手術センターハイブリッド手術室

主に心臓血管外科がIVRで使用する装置で、日本で2台目の最新機器。胸部大動脈瘤や腹部大動脈瘤などの病気に対して、大動脈ステントグラフト内挿術という手技で、切開せずに人工血管に置換する治療が行えます。脳血管や末梢血管の治療にも用いられます。

(機種名: 東芝メディカル社製 INFX-8000H)



### 救命ハイブリッド手術室

主に救命救急センターのIVRで使用する装置。救急搬送された外傷患者さんに対して、診察からCT検査、血管造影、緊急手術をベッド移動することなく行うことができます。IVRによる止血を行いながら、外科的手術を同時に行うことも可能です。

(機種名: 島津製作所製ハイブリッドOP BRANSIST SAFIRE VC17)



### CT

X線を用いて体の断面を映し出す装置。CTガイド下ドレーナージやCTガイド下生検などCT透視を併用するIVRで使用します。画像を見ながら細い針を進めて、組織診断を行うことができ、非常に低侵襲な検査が可能になります。また3D立体画像の作成にも用いられ、様々な角度から部位を検証することができます。

(機種名: GEヘルスケア社製 Optima CT660)

# Introduction of Nurse

## 看護師のご紹介

放射線科・内視鏡室  
インターベンションエキスパートナース

能美 智子さん



### Q 能美さんは普段どんなお仕事をしていますか？

インターベンションエキスパートナースとして、放射線科・内視鏡室で検査や治療に携わっています。特にIVRの治療においては低侵襲で患者さんの負担を軽減できるメリットがある一方、意識がある状態で治療が行われるため、不安や苦痛を感じることがあります。術前訪問を行い治療についてしっかりと説明したり、治療中のサポートをしたりすることで不安や苦痛を少しでも解消することが私たちの役割の1つだと考えています。そのために院内・院外で開催される勉強会等に参加し、知識や最新情報を収集することで研鑽を積んでおります。現在当院には、8名のインターベンションエキスパートナースが在籍しており、医師、看護師、診療放射線技師、臨床工学技士と連携しチーム医療でIVRに取り組んでいます。また、医療スタッフのみならず患者さんともコミュニケーションを図り、安心・安全な治療が実施できるよう努めてまいります。



### Q お仕事に対するモットーを教えてください。

患者さんやご家族の立場になって、何ができるかを常に考えて行動することをモットーとしております。「しんどい時は声をかけてくださいね。」と伝えますが、患者さんの中には我慢をされる方もいらっしゃいます。専門性の高い看護ケアの提供はもちろん、不安な様子であれば声をかけたり手を握ったりするなど、患者さんに可能な限り寄り添うことで少しの変化にも気づけるように心がけています。治療後に患者さんからいただく感謝のお言葉はより一層の励みになっています。

### Q インターベンションエキスパートナースとしての目標を教えてください。

IVRは患者さんへの負担が小さく非常に有益な治療であることを多くの方に知っていただき、一般的な治療となることを目標としています。まだまだ認知度の低い治療ですが、救急医療や緩和医療など幅広い分野で活用される治療法となっています。IVRは技術的に目覚ましく進歩しており、適応疾患も拡大しているため専門的技術や知識を習得するのは大変ですが、インターベンションエキスパートナースには今後さらに多種多様な対応が求められると思います。私たち看護師が率先して、他職種と連携を図り、安心・安全な治療や検査を提供できる体制を整えていくことが重要だと考えております。





当センターで  
たくさんの方の

# welcome baby 赤ちゃんが産まれています!

令和元年  
8月1日生



咲希(さき)ちゃん

## ♡ご両親からのメッセージ

無事に産まれて来てくれてありがとう。これから咲希ちゃんと過ごしていける事がとても嬉しいです。いっぱい遊んで、楽しんで、いろんな事を一緒に経験していこうね!

## ♡どのようなお子さんに育てて欲しいか

しっかり物事を考えて、周りの人を笑顔にするような、優しくて明るい子に育てて欲しいです。大きくなったら自分が進みたい道を歩んでいってね。パパもママもいつもそばで応援しています!



## ♡ご両親からのメッセージ

無事 元気に生まれてきてくれてありがとう♡お兄ちゃん達やお父さんお母さんはとても楽しみに待っていましたよ(^ ^)

## ♡健康で元気に、 たくましく大きくなってくださいね!

3人の中で一番お腹が大きくとっても苦しくて大変でした。なかなかゆっくり胎動を感じたりしてあげることがむずかしかったけど、お兄ちゃん達が寝てからは急にお腹の中で動き回って元気な様子がよく分かり“2人の時間”がとても嬉しく楽しいひと時でした!



令和元年  
8月2日生

充希(みつき)ちゃん

令和元年  
8月2日生



寧心(ねね)ちゃん

## ♡ご両親からのメッセージ

元気に産まれてくれてありがとう!兄2人は毎日抱っこしたり手を繋いだり「可愛い♡ずっと大事にする!!」と張り切ってます!本当に可愛くてたまらない♡これから家族5人楽しめがいっぱい!沢山の幸せをありがとう!

## ♡名前の由来

いつも穏やかで、人を思いやれる優しい心をもった子になって欲しいと名付けました。兄妹3人いつまでも仲良しでいてね!!



## ♡ご両親からのメッセージ

すずちゃんに逢えるのを家族みんな楽しみにしていました。私たちのところに生まれてきてくれてありがとう。これから家族4人でたくさん思い出をつくっていきましょうね。

## ♡どのようなお子さんに育てて欲しいか

元気で明るく健康に育ててほしいです。笑顔がとてもかわいいので大きくなってこの笑顔で周りの人達を明るくするような子になってくれたらうれしいです。

令和元年  
8月4日生



和鈴(すず)ちゃん

# ご紹介

## Introduction of Registered Physician



### 西区鳳東町



内科・消化器内科・内視鏡内科

### いしかわ内科・内視鏡クリニック

堺市西区鳳東町1丁7-30 2階

●JR阪和線「鳳駅」より徒歩約1分

☎072-272-2101

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30(午前診)	○	○	○	/	○	○	○
13:00~16:00(検査)	○	○	○	/	○	○	○
16:30~19:30(午後診)	○	○	○	/	○	/	/

※木曜・祝日は休診 ※胃・大腸カメラは当日随時受付可能



#### ●当院の特長

総合内科医として風邪の諸症状をはじめ、生活習慣病やアレルギー疾患、呼吸器疾患などに対応しています。また日本消化器病学会専門医として、食道・胃・大腸などの消化器疾患から炎症性疾患、ポリールの診療などの幅広い疾患にも対応できるような内視鏡検査や腹部超音波検査の設備も整えております。また、当クリニックは土日診療も行っているため、平日は忙しくて病院に行けないという人でも来院していただけます。

#### ●私の診察モットー

全ての患者さんに、安心・笑顔・幸せを届けられるようなクリニックにしたいという想いで開院しました。患者さんにとって向き合い、耳を傾け、笑顔で寄り添いながら対応することを心がけています。少しでも安心していただけるように、病気だけでなく、精神面でもフォローを行い、あたたかい医療を提供できるよう努めてまいります。診療や検査の必要性を理解いただくためには、丁寧な説明が不可欠です。患者さん一人ひとりと信頼関係を築き、「私のことをよく考えてくれている」と思ってもらえる診療と検査を行ってまいります。

#### ●地域の患者さんへメッセージ

体に不調を感じたら些細なことでもご相談ください。患者さんが健康な生活を送れるようにサポートしていきます。より専門分野の治療が必要になった場合は、専門性の高い病院を紹介させていただきます。地域の皆さまから信頼されるクリニックを目指してまいります。

### 南区大庭寺



人工透析・腎臓内科

医療法人計行会

### 高橋計行クリニック

堺市南区大庭寺778-9

●京北高速鉄道「桐・美木多駅」より車で約5分

☎072-284-3232

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
17:00~20:00	/	/	○	/	/	/	/

※腎臓内科は、日曜・祝日は休診 ※人工透析は、月曜・水曜・金曜・日曜7:30~22:00、火曜・木曜・土曜7:30~18:00



#### ●当院の特長

人工透析と腎臓内科を中心とした腎臓の病気に特化したクリニックです。当院では、施設血液透析の他に腹腔透析、在宅血液透析の3つを主に扱っております。特に、透析治療しながら社会復帰を目指す方には在宅血液透析を提案しております。在宅血液透析を行っていた前に訓練や知識習得を行っていただき、その必要条件をクリアしていただく必要があります。が、自身の生活リズムや体調に合わせて自宅で透析治療ができますので、患者さんにとって利点が多い治療法だと考えます。もちろん緊急時には、24時間365日対応できるようにオンコール体制を整えております。

#### ●私の診察モットー

患者さんをはじめ当院スタッフにも「ここに来てよかった」と思ってもらえるクリニックを目指しています。なるべく患者さんには快適に、そして前向きに治療に取り組んでいただけるよう空間作りを入れています。広々とした透析室には、72台のベッドを備え、プライバシーや空調設備にも配慮することで長時間の治療に安心して臨んでいただけるよう心がけています。

#### ●地域の患者さんへメッセージ

なるべく透析が必要とならないように治療及び指導を行います。また、透析が必要となった場合でも患者さんのライフスタイルにあった治療法をご提案させていただきますので、お気軽にご相談ください。自分らしい治療法と一緒に考えていきましょう。





# 当院の登録医の先生を

## 中区深井中町



内科・腎臓内科・人工透析内科・皮膚科・アレルギー科・形成外科・整形外科・リハビリテーション科

社会医療法人 頌徳会

### 日野クリニック

堺市中区深井中町1248

● 泉北高速鉄道「深井駅」より徒歩約10分

☎072-276-5111

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00(午前診)	○	○	○	○	○	○	/
13:30~16:30(午後診)	○	/	○	/	○	/	/
17:30~19:30(夜間診)	○	○	○	○	○	○	/

※腎臓内科は、水曜・金曜(予約制、夜間休診) ※形成外科は、月曜・水曜(水曜午後診は予約制、夜間休診) ※アレルギー科は、午後休診(夜間診は月曜・水曜・金曜) ※日曜・祝日は休診



「日野クリニックに来てよかった」と感じていただけるように、良質な医療の提供に努めています。病気と上手に付き合いつながり、少しでも楽しみや笑顔になれることを探す手助けができればと考えています。当クリニックには広い駐車場や、泉北高速鉄道深井駅から送迎バスを運行しておりますので、ぜひご利用ください。

#### ●地域の患者さんへメッセージ

患者さんに充実した生活を送っていただくためには何ができるのかを常に考えながら医療に取り組んでいます。来院された患者さんに笑顔で帰っていただけるよう、コミュニケーションを通じて、患者さんに寄り添い、背景や悩みを理解した上で診療することは基本だと思えます。真摯に向き合い、信頼を築くことを大切にしています。

#### ●私の診察モットー

内科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、アレルギー科などの外来診療と、人工透析や血漿交換療法などを行う総合型外来専門クリニックです。幅広い専門科目を擁することで、一度に複数科を受診できるため、患者さんの通院負担が軽減されます。2階の血液浄化室には76ベッドの透析設備を完備しております。また、リハビリが必要にもかかわらず、通院が困難な患者さんには、理学療法士による訪問リハビリテーションの対応も可能です。検査にも注力しておりCTをはじめレントゲン検査や超音波検査、胃カメラ検査などもスムーズに対応いたします。

#### ●当院の特長

## 中区八田西町



内科・内視鏡内科・消化器内科・眼科

### ましも内科・眼科クリニック

堺市中区八田西町2-6-46

● JR阪和線「津久野駅」より車で約6分

☎072-276-5070

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00(午前診)	○	○	○	○	○	○	/
13:00~16:00(検査)	○	/	○	○	○	/	/
16:00~19:00(午後診)	○	/	○	○	○	/	/

※眼科は、月曜・水曜・金曜(午前診のみ) ※日曜・祝日は休診



「ここに来院したらしっかり診てもらえる」と思っていただけのような、地域に根差したかかりつけ医を目指して取り組んでいます。体調不良や目の不調、その他お困りのことがあればいつでもご来院ください。また、総合病院や専門医療機関と連携しておりますのでご紹介させていただきます。

#### ●地域の患者さんへメッセージ

患者さんにとって身近で親切的な医療の提供をモットーに、診療を行っております。ご自身の病気について理解していただくために、わかりやすい説明を心がけ、必要であればご家族と一緒に話させていただけます。医療を提供するだけでなく、来院された患者さんの不安や悩みをしっかり聞くことが重要です。症状以外にも、生活環境や趣味など患者さんが何でも話せる雰囲気づくりを大切に、コミュニケーションを図りながら診療してまいります。

#### ●私の診察モットー

内科(総合内科専門医・消化器内視鏡専門医)と眼科(眼科専門医)の2名体制で診療を行っています。幅広い疾患に対応するため、様々な検査機器を整備しています。特に胃カメラ・大腸カメラの検査に注力しており、また、日帰りでポリープ切除も可能です。また、糖尿病患者は眼科疾患を患っていることが多いため、内科医と眼科医が連携を図りながら診療できることも特徴の一つです。土曜日も診療・検査を行っておりますので、平日に通院が困難な働く世代の方にも通いやすいクリニックとなっております。

#### ●当院の特長



# 体を温めるレシピ



## 塩分控えめ 冬野菜の豆乳みそ汁

寒くなってくると汁物が欲しくなるけど、塩分が気になる!という方におすすめの豆乳みそ汁です。豆乳を使うことで、味噌の量を減らしてもコクがありおいしく仕上がります。



栄養価(1人分)  
 ・エネルギー 50kcal ・塩分 0.8g(天然だし使用時)

### 【材料 4人分】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 白菜……………120g(1~2枚) | だし……………300ml    |
| 大根……………60g        | 無調整豆乳……………150ml |
| 人参……………30g        | 味噌……………大さじ1・1/3 |
| しめじ……………1/2パック    | 万能ネギ……………適量     |
| 油揚げ……………1/3枚      | すりごま……………適量     |

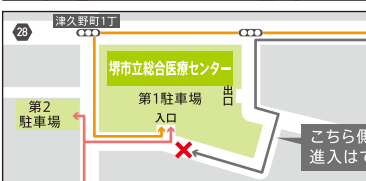
※市販のだしの素(塩分含むもの)を使う場合は、味噌の量を減らしましょう。

### ●作り方

- ①白菜は短冊切り、大根、人参は皮を剥いて、いちょう切りにする。しめじは石づきを切り、小房に分ける。油揚げは湯をかけ油抜きし、短冊に切る。
- ②鍋にだしと①を入れ、火にかける。野菜類に火が通ったら、味噌を溶き、豆乳を入れる。(豆乳を入れたら煮立たせないように温める)
- ③器に盛り付け、小口切りしたネギとすりごまをお好みで入れる。

栄養管理科 田中 雅子

## Access 交通のご案内



※当院駐車場へのご利用は一方からの進入となっております。  
 ※月、火、木曜日は大変混雑しますので、第2駐車場もご利用ください。

こちら側からは駐車場への進入はできません

## 堺区・南区方面に送迎バスを運行中!

堺区ルート 19本/日 南区ルート 8本/日

無料  
※平日のみ

●運行ルート・時刻表につきましては、ホームページでご確認ください。

### バスでお越しの方

中もず駅前、石津川駅前、深井駅、泉ヶ丘駅、若竹大橋、梅・美木多駅、堺東駅前  
 上記の南海バス停留所から、堺市立総合医療センター行きバスをご利用ください

### 電車でお越しの方

JR阪和線津久野駅 徒歩約5分

### 車でお越しの方

阪和自動車道「堺IC」より10分  
 阪神高速道路15号堺線「堺出口」高架道を出口まで進み国道26号線より15分

### 駐車場料金のご案内

一般ご利用者(お見舞い等)	当日受診された方	手術付き添いの患者さんのご家族等
最初の1時間 <b>200円</b>	5時間まで <b>200円</b>	24時間まで <b>200円</b>
最初の30分以内に在庫の場合は無料。以降30分毎に100円		当日受診された障害者手帳をお持ちの方 <b>無料</b>



地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

SAKAI SAKAI CITY MEDICAL CENTER

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号

TEL.072-272-1199

<http://www.sakai-city-hospital.jp/>